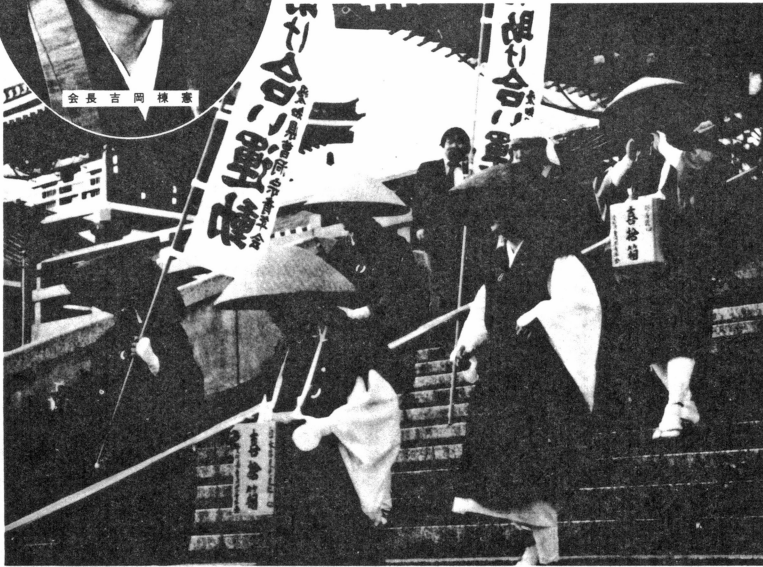




会長 吉岡 操 豪

街に進一步



発行所
曹洞宗青年会

〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗本願寺内
発行責任者 吉岡操 豪
TEL.03-454-5411(代)

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

昭和六十一年

経済面で第一級国となった日本ではあるが、所詮、貿易立国、前途には様々な問題が山積みされている。

精神面では日本は何級ぐらいであろうか。かつての日本は第一級という人もいるが、暗黒の時代を含めるのはどんなものか。今の日本、豊さに惑わされているともいって、団魂の世代には「贅沢はすてき」としが写らな。十年一昔は過去の言葉。観念まで大変化をして時代に追いつく言葉もない。

人間とは、変化ばかりを追う者か。

この冬、寒中託鉢をする青年会が多い。参加したある青年僧は、涙しながら喜捨してくれた人がいたことを伝え、「人に本心から拝まれました」と語ってくれた。

世間は拝む人を待っている。暗黒の世に明りを灯してくれる人を待っている。真剣になって活動してくれる人、話をしてくれる人、聞いてくれる人を待っている。この願いに応えるのは青年宗侶においてほかにはいない。

昨年、仏教の地盤沈下が著しい。青年僧侶は信頼される存在を目ざすべきだ。

―――門戸は開かれている。

目次

中国大会……………	4
全曹青の明日……………	5
此寺に和尚あり……………	6
インタビュー④ 三遊亭円楽師匠……………	7
研修「食」……………	8
日曜学校……………	8

破草鞋

◎てんびんの詩」という映画が大変評判になっている。自主上映が一千回をとうに超えてしまい、千七百本のビデオもあつと言つて聞いたら切れてしまったと言つた。

◎江戸時代以降、全国の流れ作業を支配した近江商人は、後継者が十才になると、なぶたをもたせ行商に出した。その修業を体験した老商人の話である。熊本市での上映会で八百人が感動的な場面に喝いたのは他会場と同じだったが、近くの荒物屋が、ニツクに襲われた。見つけた人ならばなぶたが、跡かたなく売り切れてしまったのだ。私の子育ては間違っていた、心を鬼にして息子を突き放し、手を合わせて祈る母親の姿に感動した」と泣きじやくる主婦がいた。『60・11・8付 朝日新聞、大津支局 平井淳夫記者』
◎跡目を継がせると言のは、先祖代々の心をつがせると言う事なのだ。今の子供は辛抱が足りないのだ。現代の親にこそ、辛抱と勘忍が求められている。子育ては、親の修業修練の場だとも映画は語りかけてくれる。
◎熱心な檀徒の推めもあり、矢も楯もたまず、納め地蔵の日、本堂で上映会をひらいた。みんなが泣いた。すすりなく声は、こんな心の伝承にこそ和尙さんが立ち上つてくれ、とも聞えた。見終つて佛前に合掌し立ち去る人々の真剣さは、かつて見たことがなかった。
◎嫡々相承、師資相承は何を相承するの。弟子養成の要を商業道の原点はついている。俗と変らぬ庫裡生活の中で、内なる佛の内部告発を待つのである。脚本、竹本幸之祐氏に感謝して撰筆する。問合せ 大津市内、日本映像企画 電話 七五五―五六一六六番

中国曹青

いずも大会を開催

「宗教と生命観」今みつめよう生命

第八回中国曹青大会が十一月二十一日二十三日の二日間... 曹青連絡協議会の主催で行なわれた。

十一月二十一日(木) 午後二時よりの受付開始にもかかわらず、正泊には各県より続々と参加者... 第一日は中野老師を司会に講師によるパネルディスカッションを展開した。

パネルディスカッション 生命をみつめる 多彩な講師 「宗教と生命観：今みつめよう生命」と題した大会の講師は、曹洞宗教化研究所講師、中野東禅老師、島根医科大学脳神経外科教授、石原進先生、財団法人日本モロロジー研究所、青年部教育講師、塚谷仁志先生、島根県中央児童相談所前所長

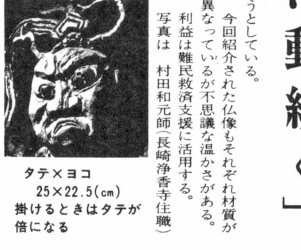
とは一体何であるかといったお話から「生命」観は聞くに宗門外の多方面にわたる活躍の経験から家庭内暴力、家族崩壊、非行と事例をあげ、「いずも」宗教家としての立場から解決に当たって、幸い好結果であったが、人間の生き方を考えさせられた」と結ばれた。生いながら「生命」の解説を受けたわけだが、人間性の問題もここで提示されることになった。

十月二十二日(金) 第二日は午前八時十分より中野老師の講演を開いた。第二日は午前八時十分より中野老師の講演を開いた。講演は第一日のパネルディスカッションの内容をふまえて、現代の生命問題に仏教はどのように答えるかというテーマでお話いただいたが、講師の日頃の研究から、豊富な資料をもとにした仏教再生論として

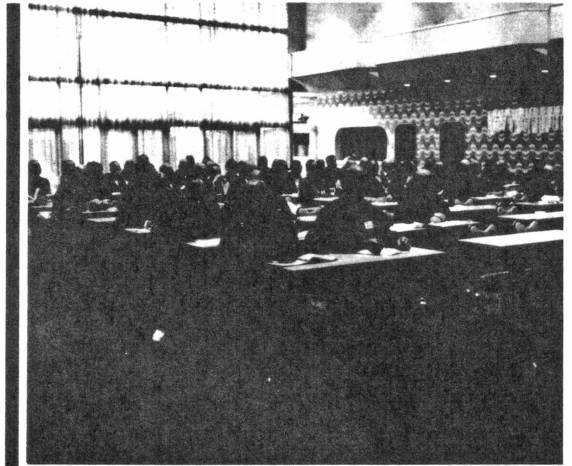
九州曹青 カレンダーを作製販売 九州曹青(須川法会長)では今回、地元仏師、船井幸一師の紹介を兼ねたカレンダーを作製販売した。船井幸一師は船大であったが、二十年前は、前、夫人と死別後、家族とも別れ、水道もない小屋で一人暮らし。仏像を彫るといっても木を吟味することもなく、木に隠された仏を見い出す

全国曹洞宗青年会後期禅の集い研修 第三回 四国地区地方集会のご案内 四国曹青では、次のように地方集会の開催を予定いたしております。今回は、昨年の「中国曹青地方集会」で好評でした各分野からの専門家の講演・討論を更に進めるとともに、宗門からの発言を加えていく予定です。また、全曹青が中心となつてすすめています「食」の問題を噛み合わせ、研修してまいります。幸い、会場も宗門僧侶の研修にふさわしいと思っておりますので、多数の参加をお願いいたします。

「宗教の再確認」 講演は第一日のパネルディスカッションの内容をふまえて、現代の生命問題に仏教はどのように答えるかというテーマでお話いただいたが、講師の日頃の研究から、豊富な資料をもとにした仏教再生論として、現代における機器移植の問題、靈魂の問題などは仏教の再確認から問題の特徴を見きわめる必要がある。そこから、真の宗教の態度が生まれ、生命問題の捕らえ方がはつきりしてゆく。



川口高風師の出版記念会祝賀会 昨年、『風外本高和尚』(名著出版)を上梓された川口高風師の祝賀会が盛大に開催された。川口師はすでに十数冊の著もあり今後の活躍が期待される。愛知県第一曹洞宗青年会の会員であり、愛知学院大学助教授である。(60.11.20)



(11. 21 島根県五造温泉にて)

東北曹青

宮城曹青チャリティバザー

去る二十日、同県東市の武蔵館で会場に多数の市民を集め、講演会(講師星智雄師、仙台大梅寺住職、元仙台博物館館長)に続いて難民救済支援のバザーを開いた。

今回のバザーは管内各寺院の協力で、檀家などから贈られたシャツ、瀬戸物、缶詰など約五千点が提供展示された。講演の後、曹洞宗ボランティア会の難民救済活動を紹介した映画「祖国なき人々」も上映され、一層の理解を得られたこともあって、山のように積まれた品も一時間足らずで完売した。

中国曹青

眼蔵会を予定

岡山県成羽町、延命寺(中山純雄住職)では坐禅堂が完成、全願の眼蔵会を開く。講師には大本山永平寺副貫首高崎安保老師を迎える。



過日、高城曹青が主宰、仙台北の奥座敷と呼称されている風光明耀な出湯の里、秋保温泉ニール水戸屋において、全国曹洞宗青年会主催、昭和六十年年度後期神のついで中央研修会、東北会場「大衆教化の接点を求めて」テーマ「食」について、並びに東北曹青十周年記念宮城大会を、全曹青始め東北曹青関係機関の御援助と御協力により企画運営し、開催させて頂きましたところ、空前絶後の名簿に記載された、日帰り当日参加者も含め百七十七名、八十名と言ふ多数の参加者を得ましたことは、全曹青会員は勿論、各単位曹青、各

記念大会を振り返って

実行委員長 宮城曹青会長

我妻 耕道

が出来ました。特筆すべき大会でありました。つまり、全曹青対東北曹青、あるいは各単位曹青という相対的な立場の図式を離れ、共に個性ある曹青、東北曹青のみならず、仏祖の慈悲と報ゆることとなり得るわけです。更に今回の大会と研修会を開催することについては、場所や

期間 六月十四日午後二時より十七日まで

講演 弁道話

講本 五、〇〇〇円

人員 六十名まで

東海曹青

愛知県第一曹洞宗青年会

年末の二十二日、歳末助け合い募金に託鉢で協力した。厳寒の中であつたが多くの市民が足を止めて協力した。



助け合い運動

各単位曹青、教区曹青に至るまで、参加者一同東北はひとつ、否、宗門はひとつという思いを新たにしたい。心より御礼申し上げる次第です。同度この度の大会は、東北曹青十周年記念大会と呼称し、誓願幡車、全曹青の御厚意により、神のついで研修会を東北の地で同時に開催すること



内容、会費、差定、講師、十周年記念誌の発行等々、その他さまざまな懸案事項があり、その一つ一つを十二分に検討し慎重審議の上、全曹青東北曹青連絡協議会の承認を得て決議進行致しました。その結果、全曹青の研修会は「食」について行なうこと、講師(基調講演)は全曹青にてご依頼して頂けると、全曹青の予算から資金援助のこと、十周年記念大会の内容は高曹青で練つたもの、でよいこと、東北曹青十周年記念誌を天野宏雄、清水正範の両師とそれがして編集し発行したいことなど、大まかな点を考慮し、細部に渡っては更に検討しながら前車の覆るは後車の戒めとし、事務処理などの運営に当たりました。しかし、最初に配布した募金要項パンフレットや「食」によせてお願いした、「生版」としてのバザー物品供出のお願いについて、当方の内容不備な点もあつたようであるから全曹青がご注意、

祝 東北地区曹洞宗青年会連絡協議会10周年記念宮城大会



祝 東北地区曹洞宗青年会連絡協議会10周年記念宮城大会

の辛汁や豚汁付当の為、不足するくらいであった。従つて宮曹青が奮起一番したのか二年連続の優勝となり、他県に対して接待するといふ心意気に欠けていたと言われ是れ反省している次第です。尚、各参加チームにおかれましては捲土重来を期して頂きたいと思ひます。又、従来通り分科会の時間が少ない等々の反省や、鶏鳴狗盗の被害やら、その他忘れ物などいろいろありましたがなにはともあれ最初の心配はごへや、お天気に恵まれ秋晴れの下一泊二日の研修を積んで頂く宗門青年僧の安心立命の場を企画提供させて頂いた事で、敢て止まらずに客となる、俯仰、天に愧じずの思い一杯であり、来年を青森で再会を約し、大衆は金石の交わりを、個々には金欄の契りを望んで散会致しました。最後になりましたが、この度の大会・研修会にご臨席賜りました各関係諸大徳諸老師始め、全曹青東北曹青以下各単位曹青と各青年会委員、参加者諸兄弟は勿論、各関係者特に東北ビルエヌ観光に對しまして、今大会の為に臨に賜りのお力添えを賜りましたこと、実行委員会を代表し紙上を借りて御報告を御礼申し上げます。

全曹青の明日

61

年

を

展

望

す

る

—理事・評議員合同会議から—

団体加入を積極的に

全曹青の六十一年展を展望する論議が昨年十一月二十七日二十八日の両日、事務局で開かれた。全国から各地の理事、評議員、約三十名の参加であったが、今年度を反省するとともに未来の曹青活動を討議した。

会議の冒頭、会長から全曹青の在り方として来年度について、

団体加入をさらにすすめる
全曹青の理解を求める
各地方曹青の活動を支援する
旅費規定の設定

などの問題が提起され白熱した会議となった。会長は続けて「組織の基盤を確立するために団体加入は是非とも促進したい。そのためには全曹青がもっと理解されねばならぬ。さらに、各地方から出入りする会員が困惑するような組織で発展が望めないことをあげ、事務局で組織規約の改定を検討していることをあきらかにした。

たしかに全曹青の組織規約には各地の加入を計る以上明瞭化は必須である。地区曹青の支持のないまま、全曹青が行事を執行すれば遊離してしまう。また、理解協力を求める対象の組織的な位置づけが確立しないこと自体、全曹青の活動の上で大変なネックとなっていた。

この席で会長は全曹青と各地の曹青との関連に言及し、

「全曹青は地方曹青のバック役であり、連絡協議的な存在を目ざし、各地の曹青の活動を支援する団体」と説明し、具体的に、

「平生の各地方曹青の活動と適合するような活動は全曹青として計画しない。全曹青でしかできない活動には全力を傾注し、しかも、各地の曹青の興隆を計るものを考えたい」と

と新しい全曹青の在り方を提示した。

曹青結成地区の加入を切望

「全曹青加入の問題は組織委員長より未加入地区の状況などが詳細に説明された。曹青存在の意義を高めるためにもさらに積極的に取り組むべき」という意見が続出した。

事務局内規として運用するようになった。(別項参照)

宗務部に曹青部を

宗門で青年傳の占める役割は年々増加している。他の教団の例を見ても「青年部」のある団体の活動には顕著なものである。

現在、全曹青の事務局は事務局に置かれ、所轄課長を常任幹事として担当書記を幹事として事務を依頼している。全曹青専任ではない。事務を事務局に依頼することについても質問が出されたが、積極的な活動を続けるためには宗務部との関連を維持しなければならない。

曹青は官製の団体ではないが、近い将来には宗務部に青年部が設立され、青年

各委員会から

曹青会員は五千人以上

組織委員会報告 (吉村明仁委員長)

◎団体加入の状況
別表のように九団体から団体加入していただきました。また、その他にも来年度に加入予定を数団体からうかがっています。未加入及び未結成の地区も加入に鋭意あたっていますが、未加入については会の総会などで検討するなど前向きな返事をいただいております。

◎地方集会の開催について
今年度は六地区で集会が開催予定とされています。すでに開催した大会については「曹青通信」でご報告させていただきます。

皆さんに期待します

教化部長 多羅尾 道春



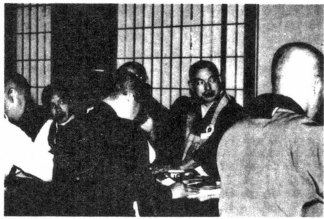
全国から集まられた、こうした若い皆さんの会議に参加させていただき、宗門の基盤として、是非ともこういった会が必要だと感じます。また、皆さんも宗門の為に何かしようと思われたいという熱意を感じ、大変うれしく思っています。

全曹青の目的に「各地曹青宗門の相互の連携を計り、青年に賦与された知と力を結集し……宗門に根ざした人間の育成をはかり、もつて……」とありますが、まさしくその通りであります。皆さんの日頃の活躍を聞きにつれ、我々の期待している青年僧侶としての目的にそつた活動がされていると思います。

全曹青の組織は現在のところ、全員加入とはなっていないようです。しかし、宗門にも各地に宗務所があり教があるように、できる限りの組織化に努力され、宗門の若い力となつて下さいますようお願いいたします。

宗門も曹青にお願いしたいことは沢山あります。会長さんを中心に活気ある会をなさっていただきたいと思っております。

(六〇・二・一七 理事・評議員合同会議での挨拶から)



鋭い意見に一瞬緊張

各地の加入状況

(六〇・一一)

青年会名	団体	正会員	賛助会員	合計
青森	〇	六六	一一	七八
秋田	〇	二〇	一一	三二
岩手	〇	一〇〇	一一	一一一
山形	〇	一〇〇	一一	一一一
山形置賜	〇	五七	八	六五
山形庄内	〇	一五七	一三二	二九〇
宮城	〇	九六	一四	一一〇
福島	〇	六九	四五	一一四
埼玉第一	〇	一一五	一一	一二六
埼玉第二	〇	一一五	一一	一二六
千葉	〇	六七	一一	七八
茨城	〇	一一	一一	二二
神奈川	〇	一一	一一	二二
群馬	〇	一一	一一	二二
新潟	〇	一一	一一	二二
愛知一	〇	一一	一一	二二
愛知二	〇	一一	一一	二二
愛知三	〇	一一	一一	二二
岐阜	〇	一一	一一	二二
三重	〇	一一	一一	二二
静岡三	〇	一一	一一	二二
静岡四	〇	一一	一一	二二
滋賀	〇	一一	一一	二二
京都	〇	一一	一一	二二
奈良	〇	一一	一一	二二
大阪	〇	一一	一一	二二
広島	〇	一一	一一	二二
山口	〇	一一	一一	二二
岡山	〇	一一	一一	二二
鳥取	〇	一一	一一	二二
島根	〇	一一	一一	二二
鳥根一	〇	一一	一一	二二
鳥根二	〇	一一	一一	二二
四国	〇	一一	一一	二二
福岡	〇	一一	一一	二二
長崎	〇	一一	一一	二二
佐賀	〇	一一	一一	二二
大分	〇	一一	一一	二二
宮崎	〇	一一	一一	二二
鹿児島	〇	一一	一一	二二



英知を結して(60. 11. 27)

研修

詩偈と禪

(二)

山口晴通

昭和六十一年、改題の合辰となった。作詩をはじめには、春夏秋冬の感時にして、古くお守りやお札等をお祈りするなど、現在日本のお正月と、全く同じようなことが表現されている。年頭に一詩を賦すことは、昔も今も、出家在家とも変わりはない。ただし、その表現される内容は、自ら異なるものがある。

爆竹声中一歲除、爆竹の聲中一歲除き
春風送暖入屠蘇、春風暖を送りて
千門万户曈曈日、千門万户曈曈たる日
総把新桃換旧符、総て新桃を把りて旧符に換う

吾迎四十二年春、吾迎う四十二年の春
無厄無難物外身、厄無く難無し 物外の身
時節因縁弘仏性、時節因縁弘仏性を觀す
寒温動靜時新、寒温動靜を觀す

平起式 上平・十一眞の韻
山雲垂瑞彩、山雲瑞を垂れて
仁王般若波羅密、仁王般若波羅密
一柱心香祝万年、一柱の心香 万年を祝う

平起式 下平・六麻の韻
以上上の詩と、王安石のものと比較するといふ。同じ新春を迎えながら、禪家の面目が看取さるであらう。小生も新年頭にあたり一偈をもにしたい。

中国の正月には、爆竹が鳴らされるのは周知のとおりである。お屠蘇もあるし、古くお守りやお札等をお祈りするなど、現在日本のお正月と、全く同じようなことが表現されている。年頭に一詩を賦すことは、昔も今も、出家在家とも変わりはない。ただし、その表現される内容は、自ら異なるものがある。

春風吹到一袞姿、春風吹いて一袞姿に到り
晚見祥雲瑞霞、晩に見る祥雲の瑞霞を伴うを
跌坐共新年面目、跌坐年と共に面目を新たにす
禅心却照白梅花、禅心却つて照す 白梅花

平起式 下平・一先の韻
世事地来友古賢、世事地来りて古賢を友とし
優遊閑適遊塵緣、優遊閑適 塵縁を避く
早梅花白竹籬外、早梅花は白し 竹籬の外
妙偈商量微笑、妙偈商量す 微笑の禪

現在では、なかなか世事を脱却するなどはとても難しく、せめて気持だけでもと思ひ、今年の正月は、一偈、禪門の語録を読んでみた。庭に咲きはじめて白梅花の花を見ながら、古人の偈語を参究し、拈花微笑の巻を讀喚するも素晴らしいことではなからうか。「元明口占の題にて」一詩を賦さんことを念願する。

附則 この規定は昭和60年11月27日より施行する

旅費規定を提出

全曹青

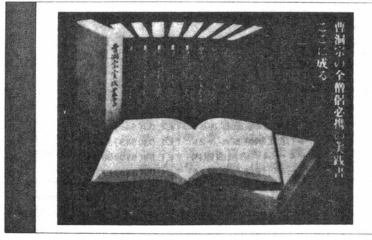
旅費規定(内規)

全曹青は今年度より団体加入が原則となり、会議には各曹青の代表(理事・評議員)が出席することになった。このため最近の会議は出席率が急増している。旅費の為に遠方から参加するわけだから旅費の支給も当然考慮したいことである。この度、旅費規定が事務局より提出されたが、規定を設けて節約をはかるものでなく、出席者が急増し旅費予算が不足してきている現状を踏まえ、このままでは出席を歓迎できない事態も予測され、必要に迫られた提案であった。会議では予算の執行状況書も配られ慎重に審議したが、現状を鑑み事務局内規として運用するよう決つた。実費の支給ができ、各地の出席者には迷惑をかけることになるが、出席しなかつたりすることはなくなるので、一層の協力をお願いしたい。

旅費の支出率

Table with 2 columns: 地区別 (Regional) and 支給率 (Payment Rate). Rows include A地区 (40%), B地区 (50%), C地区 (60%), D地区 (70%), E地区 (80%), F地区 (90%).

曹洞宗実践叢書 全十巻. 実践仏事のすべてをここに集結. 曹洞宗実践叢書編纂委員会 (発行所) 株式会社 大蔵舎. 424 静岡県清水市横砂本町17番7号. TEL (0543) 64-7834(代)



人物紹介 此寺に和尚あり

三重県自任軒住職 広 晃義師

鳥取県延暦寺住職 飯田頼昭師

日野の今、雪の中。過疎の町である。遅い春を待望み、人々は、背く重い心と生活を背負って家の中に閉じ籠っている。

だが、彼等は、白い雪の中、雪国の景色と、うららかに、昔の僧侶然として、地黒の顔で東に西に飛び廻っている。

去る十二月末、米子市皆玉温泉へ来た。忘年会のこと、目を真赤にして出陣。いつものように泰然として一杯飲んでいた。聞けば、四十度を越える熱があるという。人によつては、おかし、という人もあろう。しかし、この責任感の強さが、今ようやく歩み始めた

三重県から会員の紹介をすするなれば、まずこの人をあげなければならぬ。我等が広晃義さん、通称ヒロさん、いや、ヒーローさんである。第三回の東海地方集會の事務局長、三重青集會第九代會長、青少年育成會會長を歴任し、その足跡は輝かしい。管内若手のホープである。

昭和二十二年の六月二十四日、三重県熊野郡の旧家の次男として生まれる。坊さんになつたとは思つていなかったが、高校時代の恩師の「こんな生き方もある」と宗門の話聞き深く感動。さっそく、縁をたよつて名古屋市東区の永安寺の

三重県青年力強い原動力となつてゐる。他人からは随分、虚心に写るが本音は「せつつか、なれて新到も来たといふのに……」となる。当時の台台寺は十名程の雲納で職務も結構づつたらしい。それが安宿の頃は二十名近くなり

門をくぐつた。根つからの純粋人間ではあるが、話を聞いただけで出愛されては二面親もたまたまなかつたろう。名古屋では愛知学院大学に通うが、どうしたことが急に駒込大学へ編入する。このあたりは黙して語らすが、ヒロさんさらに大都会にあこがれたのか……？

安宿。そして現在では伊勢市神久町の自性軒の住職であり、また地元伊勢女子高校の坐禅の講師として活躍中である。



三重曹青は私自身です

三曹青は、い、や、きつとそつた。なぜなら、まず写真を見ていただきたい。大雑把な顔の輪郭、細い目、おまげに坐禅に過ぎない短かめの足と坐禅にびつたりの胴体。(女子高校の講師なら浮いた話もありそうだが、校長からせひ、君

青い灯は切なし。仕方なく、時々、如法に打坐。しかし、彼の心と顔はあくまでもあかるい。この町の明日を創るのは自分しかないといふ、決意を固めている。彼のような若い力こそが、これから曹青、宗門を担っていく。熱く、これからの語り、情熱をもって行動する彼に、私たち曹青の期待は大きい。

宮城黒第十二教区青年會編 差定帳 教区ごとに青年會があれば行事を研修にも便利。さらに昨今は僧堂といえは本山が中心となり、僧侶間の地方での交流は難しくなつてゐる。地域での寺門發展の為に教区青年會があれば大きな力となる。

この十二教区青年會(千田町總會長)は一つ一つの行事を重なる裡に互いに安宿歴も異なる、共通の差定帳を作る必要に迫られた。この地区独自の行事差定もあつたが、今回はこのことも使用できるように行持規範を中心に組んでみた。さらに、解説文だけ止まらず、解説文、解説図まで入れて青年會の法要研修課本にも便利である。また、ハンド版であるので常時携行し、各種の法要の前に一見すれば用意万端となる。

図書出版 新製品紹介

宮城黒第十二教区青年會編 差定帳

香積寺内 宮城黒第十二教区青年會 頒備 一冊 一〇〇〇円 (送料込み)

西領二二 宮城黒桃生都桃生町城内 平九八六一〇三

申し込み先 香積寺内 西領二二

電話(五七三)一三三三 一組 三〇、〇〇〇円 (送料込み)

青山社 名古屋市千種区 内山三二五一六 千四六四 問い合わせ先

道元禪の起源 鈴木鴻人 著 道元禪師の紹介物が随分出るようになった。しかし、中には企業的なサイドから利用するものといつた内容の書も多い。この書は「思想としての身体」という問題がつけられている。読んでいて僧侶として共感することが多い。 泰流社刊 一九〇〇円

堂内額

曹洞宗 曹洞宗 曹洞宗 (62x47cm)

宗務庁から、「宗旨」というボスターが出てゐる。これは、教義などの解説となつてゐるが、かつては大きな判で堂内の掲示もされた。現在はB4判となり、揮毫配布に便利になつてゐる。

この堂内額は寺院専用である。内容は「曹洞宗」「道元禪師」「一筆山禪師」「永平寺」「總持寺」の五枚組であるが、いずれも上製の額に納りそのまま掲示が出来る。サイズも適当で字も大きく寺の宗旨、本山が一目で参詣者に好評である。

三笠會館

A restaurant feel at ease

本店 〒104 東京都中央区銀座5-5-17 益木通り TEL 03(571)8181 (大代)

本 店 〒104 東京都中央区銀座4-2-15 西銀座デパート2F TEL 03(566)4031

東店 本館 〒104 東京都中央区銀座5-12-8 本州製紙ビルB1 TEL 03(541)3505

東店 新館 〒104 東京都中央区銀座5-12-6 足立鋼業ビル1-2F TEL 03(543)3621

向島店 〒131 東京都墨田区墨田1-4-54 白鶴會館内 TEL 03(610)0078

新宿店 〒160 東京都新宿区新宿3-15-17 伊勢丹会館2F TEL 03(354)1729

藤沼店 〒251 神奈川県藤沢市藤沼海岸1-11-23 TEL 0466(34)5851

藤こよみ 〒104 中央区銀座4-2-1 西銀座デパートB1 TEL 03(566)4102

フェルアスパ 〒156 世田谷区玉川3-17-1 玉川島高島SC南館6F TEL 03(709)1278

散步道

三遊亭 円楽 師匠

落語宗の説法で衆生済度をしたい

テレビでおなじみの三遊亭円楽師匠はもと寺の僧。東京は青蓮の由緒ある「勝行院」の出身。寺を離れて「仏さまのありさまを知りました」と感服したが、現代宗教にはなかなかききしむこともつづつ。内容をよく存知だけ手ごわい相手となりまして、それでも、あの声、憎めない愛されている人ですね。

落語の世界も大変だと思いますが、外からみた現在の衆教界は？

うん。総合的に甘いですね。生きて人間にもつと指をしない、必死になつてないですよ！

落語の世界から見て今の人は、必死さが足りない……ですね。

私かね、莫大の借金を抱えて、人が悪い……言えまへん。(笑)

円楽師匠、またどうして落語家になつたの？

この質問を待つてました。(笑い)これを坊さんに聞かれるのが一番嫌だね。笑。私は坊さんの落伍(語)者だね。それで落語家。(大笑)

いえ、小さい頃は坊さんになるつもりでしたよ。それが、お説教を聞いたので。難しい、何がどこかわからな。よし、それならおれはもつとわかりやすい話を、落語で宗教の説法をしよう、人をひきつける話をしようと思つたのが最初だね。

だからね、お寺を離れ落語家になつた理由が「難しいお説教のお陰」なんだ。

落語の世界から見て今の人は、必死さが足りない……ですね。

私かね、莫大の借金を抱えて、人が悪い……言えまへん。(笑)

お寺のイメージは？

古い。(笑い)私たちの世界も似たところがあるね。

良い事ほとんど取り入れて、勿論古い物を捨てるのでなく、その上に新しいことを行く。良い事は良い。悪いことは悪いという風にしておかないと、宗教は古い」と一言で片付けられて発展がなくなつて偶像崇拜だけで終つてしまふんじゃないですか。

良い事はどんどん取り入れる。なんてもともと仏教の考えですね。

いや、お坊さんに難しい説教をしてしまひました。(笑い)

曹洞宗青年会の人によく活動していますね。いま、一番じゃないですか、これには感心しました。

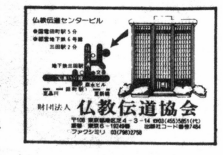
私でお役に立つことしたら、いつても言つて来てください。お手伝いしますよ。



寺の生活感覚を充分に知りたければお説教の威力が大きい。ただ、インタビューを終つた後、師匠の「私も寺僧の重要に、寺にいる我々への期待に似た響きがあるように感じられた」。

「若竹」の発展と円楽師匠の活躍をお祈りした。(文責、佐藤和)

今日も世界の各地へ



仏教伝道協会は、ホテルの客室に仏教聖典を寄贈することを主たる目的とした財団法人である。現在日本国内一、六七一ホテル、十九万五千室、国外では二、二五ホテル、二十万八千室へ寄贈している。六十一年一月現在。そして、仏教聖典発行部数は三百万冊に達した。仏教聖典の翻訳も三十四ヶ国に達した。

「お経ではない聖典」をどうぞ

— 仏教聖典すでに300万冊 —

外国ではギテオン協会が聖書を寄贈していることにヒントを得てホテルへの寄贈をはじめた。仏教聖典は大正時代に活躍した木津無庵師らのものをゆすりうけ改訂再編集したものである。

この聖典は深くしかに普及しつつあり、世界各地から注文・問い合わせ、礼状が寄せられる。

また、五年前には、切経の英語訳を発刊し、三十年計画ではじめて、翻訳センターをカリフォルニアバークレー校に設け、同校のアバレー校に寄贈の形で開設した。

これら活動の資金は三豊製作所及び沼田氏の寄贈であり、この布施行のために多くの仏教学者や仏教信者、それに船舶等の輸送関係者が協力奉仕している。

日輪学校、読書会、仏教講演会などの講本として、また、幼稚園、保育園、学校などの宗教教育の一助として利用を検討してはどうか。

直接、協会に問い合わせる。(N)



研修 ■食を考える■ (4)

誰でもできる

日曜学校

仏壇を持たない世帯が増えている。特に都市近郊住宅地の新住民の多くは仏壇を有しない。

現代仏教は仏壇仏教といえる。仏壇に礼拝することにより僧侶は檀越への出入りできるからだ。その仏壇がないとなれば、新しい教化をせねばならない。まず寺院に対し興味を持たせ、身近なものとするところを考えねばならない。

人を集めるには坐禅会、読書会、書道塾といろいろなテーマがある。今回は一例として日曜学校を紹介する。こども「食」は大きなテーマである。今回は「研修部」

何かした。

この寺は地方都市の近郊住宅地にある。この数年の人口の流入増加が目ざましく、つい最近、新入の住民が過半数を越えた。といつても檀家急増したわけではない。幼稚園が三倍になったことが物語るようにニューファミリーの世帯が集ったのである。勿論、仏壇はない。

寺を必要としない世帯の増加により寺院の地域に於ける地位は年々低下した。住職は寺に集める方法を色々考へるが決定的なものはない。人にまかせたのでは不安である。自分に何か教えられるような特技があるわけではない。さら

に、大家様が様々な文化活動まで始めているのだ。

きっかけを大切に

夏になると近所でラジオ体操が始まった。すると、終了後、子供が寺に遊びに来るようになった。丁度、朝課も終わった頃である。「総てと呼んでみないかの一語で本堂に三十八人の子供が入った。これが一週連続した。最後の日子もまた茶話会をした。そこで「九月から日曜日の朝するらね」と伝えたところ、子どもたちは来るようになった。今では日曜日ごと百人以上の子ども

沖縄に曹洞宗寺院を建立

青年宗侶も協力を!



山本 先生
山本 先生は、戦後、アメリカ軍に統治されるなど、日本を考へる上で重要な地である。ここにはすでに百十の宗教法人があり、曹洞宗の施設はまだ設置されていない。この地はともな多信仰が根強く、一般的には先祖崇拜の地といわれている。仏教系の施設も時おり見つけることが

がふかれている。得意科目は「お経」

この会の特徴は日曜日の朝八時から九時までの日曜学校といふことである。住職は私のできること得意なこと(お経を教へて)とした。これを教へてはいるが、それに法事もありませんから、この時間帯しかありません。

お経の読み方なら誰でもできる。忙しいといつても日曜日の朝八時から九時までは可能性ある。

寺院の協力

住職のいない時は寺族が協力する。開設以来、休会は一度もない。

「人に頼んでも必ず寺の者が参画していなければだめだと思ひます。参詣者は寺の熱意を感ずるものですから。」

住職は「国国青少年協同協議会」と相談して法話の資料や出席カード、子ども向きのテキストも送ってもらった。出席のたびに増えついでにシルは子どもに喜びを与えた。また、最近冬休みに一日、スケート教室を行なうようになった。

- 建立計画
- 新寺建立地 沖縄県島尻郡南風原町新川三八
 - 境内地 五〇六平方米
 - 建物 一九三 五平方米
 - 鉄筋二階建
 - 増設築経費 八五〇万円
 - 募金目標 七五〇万円
 - 現地連絡先 仲井真マンション
 - 前川建設工業社事務所
 - 新寺建立事務所
 - 電話(六三)二四六二
 - 連絡先 山梨県都留市下谷 長生寺
 - 郵便振替口座 鹿児島 七一零二
 - 曹洞宗神道場新寺建立事務所

会の流れ (日曜会)

7:45	テープを流す (般若心経、送佛楽作曲) 机を巻く
8:00	入 堂 献花・拜 禮 講義文・開経(観心・心経・禮讃(観心・観心)・舍利札文・回向 仏さまのお話(全席席)
8:35	法 話
8:45	静 座
8:50	カード配布
9:00	散 会

「食」 お茶の日を設ける。

月の最後の日曜日「お茶」の日と決めた。お茶には駄菓子も添えられる。ある時菓子が「お寺ではおいしいお菓

心経はもうほとんどの子が読めるようになった。修証義の二章など大丈夫といふ子も多い。「お高さん不要です」と言いながらも住職は嬉しうする。(同行または念仏講)がある。それぞれ頼母子講と称して毎月順番に家へ帰って報恩の経を読むのである。ところが最近リーダーの年齢が高くなっていき、子どもたちの存在はこどもも歓迎されることになったのである。

かつて、寺院は学校の役目を受け持つて地域文化の中心であった。今日の寺院が地域に根をはる為には信頼が必要である。寺に入り得る機会を増やすべきであらう。

地域の寺として

食は生活の

「食は生活の

食は生活の

子が出来るうです。ね、どんなお菓子ですか?と尋ねた。「駄菓子ですよ」と説明すると怪訝な顔をした。

「全員で同じものをいただく。全員にわたるまで誰も食べない。おしひは子です。それに手食へたことこの

昔は法要の度におの出る寺が多かった。質素な品であったが、皆よこんでだろが、それ以上に同じ食事をする。この連帯を作っていたのだ。「食は生活の

楽しいさを作っていたのだ。「食は生活の



事務局だより

六十一年度予算に増額を要望

全曹青では今年度から団体加入を計り、各地から好評を得ているが、半面、会報の印刷送達費の急増、会議参加者の増加による交通費の不足が出ています。この傾向は来年度さらに加速されると思へる。

また、六十一年度には会報名簿の作製が予定されている。名簿は、今後の活動に大きな力となるものであり、是非とも完成させたいものである。

事務局で今年度(補助金九〇〇万円)以上増額を要望して頂くことになった。

各地の会報・機関紙・記念誌などを事務局までお送り下さい。

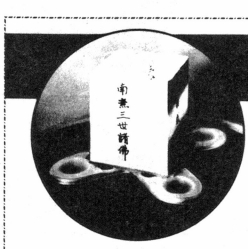
大会などの開催にあわせ記念誌を発行された。また、日頃も機関紙を発刊されている青年会も思ひます。活動を知りて絶対の資料ですので事務局(宗務庁)までお送り下さいませようお願いします。

今年度は総合企画委員の下に事業研究委員会・組織委員会・広報委員会が設置されている。これらの委員会が去一月十七日・十八日、宗務庁で合同開催された。

今回の開催は今年度を振り返るとともに、各委員会間の調整を計り、来年度の活動を検討した。特組織委員会の名簿の作製には各委員協賛してあたることになった。(詳細は次号)

合同で委員会を開催

今年度は総合企画委員の下に事業研究委員会・組織委員会・広報委員会が設置されている。これらの委員会が去一月十七日・十八日、宗務庁で合同開催された。



流し燈籠 水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

新しい「水溶性流し燈籠」の登場により、美しい心に残っている風習「燈籠流し」が、復活いたしました。

1基 980円 (1箱25基入り)
数量により指定文字の印刷も承ります。
*本品は限定商品ですので、お早めにお申し込み下さい。

◆特長◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分～1時間位水面に浮かぶ、その後3時間程度で完全に溶解します。
- 無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がなかった(ありません)。

株式会社 光和

〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17
TEL. 0466(33)6301(代表)
(36)4111(直通)